



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社リード 上場取引所 東・福  
 コード番号 6982 URL <https://www.lead.co.jp>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 岩崎 元治  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 田口 英美 TEL 048-588-1121  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	5,141	22.8	△111	—	△79	—	△69	—
2025年3月期	4,186	△17.3	△90	—	△39	—	△104	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△26.78	—	△2.7	△1.0	△2.2
2025年3月期	△40.53	—	△3.8	△0.5	△2.2

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	8,705	2,545	29.2	982.92
2025年3月期	7,882	2,600	33.0	1,008.14

(参考) 自己資本 2026年3月期 2,545百万円 2025年3月期 2,600百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	799	△535	△127	1,522
2025年3月期	273	△667	195	1,385

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	—	—	10.00	10.00	25	△24.7	0.9
2026年3月期	—	—	—	10.00	10.00	25	△37.3	1.0
2027年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00		51.8	

## 3. 2027年3月期の業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,220	80.5	10	—	10	—	5	—	1.93
通期	6,660	29.5	80	—	80	—	60	—	23.17

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	2,632,960株	2025年3月期	2,632,960株
② 期末自己株式数	2026年3月期	43,244株	2025年3月期	53,919株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	2,586,313株	2025年3月期	2,590,415株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
製造原価明細書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(持分法損益等) .....	17
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、中東情勢の悪化等地政学リスクの長期化や資源エネルギー価格の高騰、米国の通商政策、国内の物価上昇等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の売上高に大きな影響を与える株式会社SUBARUの世界生産台数は、前年度に比較し7.0%減少、国内販売台数も同4.1%減少、輸出台数も同13.2%減少となりました。

このような経済環境の中で当事業年度の売上高は、自動車用部品部門において、既存の大口量産車1車種が、フルモデルチェンジにより2025年6月末で生産を終了したものの、下期において新規大口量産2車種の部品の生産を開始したことを主因に、5,141百万円(前年同期比22.8%増)となりました。

損益面につきましては、自動車用部品部門の受注が前述の要因で増加したものの、大口受注を踏まえた3,500トンの大型樹脂成形機の導入(能力増強投資)や、生産量増加を見据えた生産ライン確保のための工場レイアウト再編等の先行投資の影響もあり、営業損失は111百万円(前年同期は営業損失90百万円)となりました。

営業外収益は受取配当金40百万円、受取賃貸料39百万円、スクラップ売却益16百万円等により101百万円、営業外費用は支払利息58百万円、賃貸費用11百万円等により69百万円を計上し、経常損失は79百万円(前年同期は経常損失39百万円)となりました。また、特別利益は固定資産売却益等により4百万円、特別損失は固定資産除却損等により20百万円を計上し、また、法人税等調整額26百万円を計上した結果、当期純損失は69百万円(前年同期は当期純損失104百万円)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

#### ①自動車用部品

当セグメントの売上高は、既存の大口量産車1車種が、フルモデルチェンジにより2025年6月末で生産を終了したものの、下期において新規大口量産2車種の部品の生産を開始したことを主因に、4,619百万円(前年同期比19.9%増)となりました。

損益面につきましては、前述の要因で受注が増加したものの、大口受注を踏まえた3,500トンの大型樹脂成形機の導入(能力増強投資)や、生産量増加を見据えた生産ライン確保のための工場レイアウト再編等の先行投資の影響もあり、セグメント損失(経常損失)は、195百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)68百万円)となりました。

#### ②自社製品

当セグメントの売上高は、駐輪事業における官公庁や駅前施設等の大口案件が増加し、494百万円(前年同期比125.9%増)となりました。

損益面につきましては、セグメント利益(経常利益)は68百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)5百万円)となりました。

#### ③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は、28百万円(前年同期比1.4%増)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しています。

#### ④その他

電子機器事業においては、2025年6月末で撤退をしたため、売上高は28百万円(前年同期比75.3%減)となりました。

損益面につきましては、セグメント利益(経常利益)19百万円(前年同期比190.6%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度における総資産は、前期末比823百万円増加し8,705百万円となりました。

#### ・資産

流動資産は、現金及び預金が97百万円、売掛金が262百万円、原材料及び貯蔵品が40百万円、その他のうち立替金が12百万円、未収入金が17百万円及び未収消費税が57百万円増加し、電子記録債権が192百万円、その他のうち有償支給に係る資産が11百万円減少したこと等から290百万円増加し2,859百万円となりました。

固定資産は、機械及び装置が92百万円、工具、器具及び備品が157百万円、リース資産が456百万円増加し、建設仮勘定が215百万円減少したこと等から有形固定資産は480百万円増加し4,737百万円となり、また、投資有価証券が59百万円増加したこと等から投資その他の資産は52百万円増加し1,106百万円となりました。その結果、固定資産全体では532百万円増加し5,846百万円となりました。

・負債

流動負債は、買掛金が172百万円、1年内返済予定の長期借入金が170百万円、リース債務が58百万円、契約負債が278百万円、役員及び従業員に対する短期債務が14百万円増加し、短期借入金が200百万円、未払金が266百万円、賞与引当金10百万円減少したこと等から202百万円増加し2,719百万円となりました。

固定負債は、長期借入金47百万円、リース債務が451百万円、長期契約負債が209百万円増加し、繰延税金負債が28百万円減少したこと等から674百万円増加し3,440百万円となりました。その結果、負債全体では877百万円増加し6,160百万円となりました。

・純資産

純資産は、配当金の支払が25百万円、当期純損失が69百万円となり利益剰余金が95百万円減少し、また、その他有価証券評価差額金が34百万円増加したこと等から54百万円減少し、その結果、純資産額は2,545百万円となりました。これにより自己資本比率は29.2%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比べ137百万円増加し、1,522百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は799百万円(前事業年度は273百万円)となりました。収入の主な内訳は減価償却費541百万円、仕入債務の増加68百万円、契約負債の増加278百万円、長期契約負債の増加209百万円、支出の主な内訳は税引前当期純損失95百万円、賞与引当金の減少10百万円、売上債権の増加64百万円、棚卸資産の増加53百万円、未収消費税等の増加57百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は535百万円(前事業年度は667百万円)となりました。収入の主な内訳は定期預金の払戻による収入50百万円、支出の主な内訳は定期預金の預入による支出10百万円、投資有価証券の取得による支出26百万円、有形固定資産の取得による支出552百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は127百万円(前事業年度は195百万円の収入)となりました。金融機関からの長期借入れによる収入1,180百万円に対し、短期借入金の返済200百万円、長期借入金の返済961百万円、リース債務の返済119百万円、配当金の支払25百万円であります。

なお、当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率	29.4	31.8	33.7	33.0	29.2
時価ベースの自己資本比率	15.9	26.1	19.8	20.0	17.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	6.7	6.1	8.0	13.6	5.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	12.0	13.2	11.7	6.2	13.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

#### (4) 今後の見通し

2027年3月期におきましては、中東情勢の悪化等地政学リスクの長期化や資源エネルギー価格の高騰、米国の通商政策、国内の物価上昇等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況であります。自動車用部品部門・自社製品部門共に、中長期的に新規受注を拡大するための積極的かつ戦略的な営業活動を展開する他、人員配置の更なる適正化、徹底した生産性の追求・主要経費の予算管理の徹底を図ってまいります。特に、自動車部品部門においては、省人合理化投資として、自動クリップ挿入装置を導入し、組立作業の生産能力・生産効率・品質の向上や、受注競争力の向上を図ってまいります。また、自社製品部門である駐輪事業においては、今後も駐輪製品の企画開発から設計、製造、販売・設置、メンテナンスまで社内で一貫して担う体制を活かすとともに、販売エリア・チャネルの拡大や、営業力・製品開発力の強化により、事業の拡大を図ってまいります。

現時点での2027年3月期の業績は、第2四半期累計期間では、2026年3月期下期において生産を開始した大口量産車2車種の受注が継続することにより、売上高3,220百万円、営業利益10百万円、経常利益10百万円、四半期純利益5百万円を見込んでおります。

通期におきましても、前述の要因で受注が増加することにより、売上高6,660百万円、営業利益80百万円、経常利益80百万円、当期純利益60百万円を見込んでおります。

なお、次期の業績予想につきましては、現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しており、実際の業績は大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の業務は日本国内に限定されており、海外での事業活動ならびに財務活動が無く、また非連結のため子会社も有していないことから、会計基準につきましては日本基準を適用しておりますが、今後の国内他社のI F R Sの適用動向等を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,435,501	1,532,909
受取手形	1,223	—
電子記録債権	225,754	32,805
売掛金	558,740	820,791
製品	38,646	39,145
仕掛品	22,766	28,636
原材料及び貯蔵品	181,936	222,149
前払費用	18,013	16,457
未収還付法人税等	5,886	6,500
その他	80,981	160,518
貸倒引当金	△60	—
流動資産合計	2,569,390	2,859,916
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,231,596	1,225,568
構築物（純額）	29,841	27,884
機械及び装置（純額）	430,074	522,756
車両運搬具（純額）	6,809	3,775
工具、器具及び備品（純額）	437,525	594,797
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産（純額）	209,776	666,623
建設仮勘定	253,605	38,399
有形固定資産合計	4,257,098	4,737,674
無形固定資産		
ソフトウェア	2,761	2,102
無形固定資産合計	2,761	2,102
投資その他の資産		
投資有価証券	936,557	995,629
出資金	10,520	10,520
従業員に対する長期貸付金	11,139	9,009
長期前払費用	29,086	20,209
破産更生債権等	3,300	—
投資不動産	155	155
その他	65,639	70,774
貸倒引当金	△2,740	—
投資その他の資産合計	1,053,658	1,106,298
固定資産合計	5,313,518	5,846,075
資産合計	7,882,908	8,705,991

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	7,179	—
買掛金	284,981	457,088
短期借入金	810,000	610,000
1年内返済予定の長期借入金	815,382	986,329
リース債務	75,370	133,796
未払金	400,707	134,489
未払法人税等	6,196	6,848
契約負債	—	278,795
前受収益	2,874	2,935
預り金	11,230	4,609
役員及び従業員に対する短期債務	70,604	84,769
賞与引当金	30,000	20,000
設備関係支払手形	2,155	—
流動負債合計	2,516,683	2,719,661
固定負債		
長期借入金	1,825,651	1,873,129
リース債務	179,432	630,576
長期契約負債	—	209,978
繰延税金負債	170,516	142,486
再評価に係る繰延税金負債	439,863	439,863
長期前受金	2,435	—
退職給付引当金	95,119	91,775
資産除去債務	50,905	50,966
その他	2,271	2,080
固定負債合計	2,766,194	3,440,856
負債合計	5,282,878	6,160,517
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金		
資本準備金	211,245	211,245
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	5,003	5,241
資本剰余金合計	216,248	216,486
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	422,229	327,164
利益剰余金合計	422,229	327,164
自己株式	△29,992	△23,998
株主資本合計	1,266,725	1,177,892
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	372,328	406,605
土地再評価差額金	960,976	960,976
評価・換算差額等合計	1,333,304	1,367,581
純資産合計	2,600,030	2,545,473
負債純資産合計	7,882,908	8,705,991

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	4,186,015	5,141,745
売上原価		
製品期首棚卸高	67,870	38,646
当期製品製造原価	3,654,910	4,680,694
合計	3,722,781	4,719,340
他勘定振替高	12,358	—
製品期末棚卸高	38,646	39,145
売上原価合計	3,671,777	4,680,194
売上総利益	514,238	461,550
販売費及び一般管理費		
販売費	380,041	345,029
一般管理費	224,890	228,258
販売費及び一般管理費合計	604,931	573,288
営業損失(△)	△90,693	△111,737
営業外収益		
受取利息	649	1,771
受取配当金	34,564	40,798
受取賃貸料	39,754	39,763
受取補償金	11,684	—
助成金収入	1,441	1,173
スクラップ売却益	19,013	16,266
その他	1,920	2,072
営業外収益合計	109,027	101,846
営業外費用		
支払利息	42,273	58,619
賃貸費用	11,398	11,258
その他	4,146	100
営業外費用合計	57,819	69,978
経常損失(△)	△39,484	△79,869
特別利益		
固定資産売却益	339	3,504
受取保険金	5,301	1,279
特別利益合計	5,640	4,783
特別損失		
固定資産売却損	—	695
固定資産除却損	37,194	19,357
事業撤退損	33,139	—
投資有価証券売却損	—	4
特別損失合計	70,333	20,057
税引前当期純損失(△)	△104,177	△95,143
法人税、住民税及び事業税	790	820
法人税等調整額	31	△26,688
法人税等合計	822	△25,868
当期純損失(△)	△104,999	△69,274

## 製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 材料費		1,439,971	39.4	1,753,933	37.4
II 労務費		844,682	23.1	935,289	20.0
III 経費		1,369,552	37.5	1,998,529	42.6
(この内外注加工費)		(331,522)	(9.1)	(622,509)	(13.3)
(この内減価償却費)		(332,119)	(9.1)	(533,717)	(11.4)
IV 作業屑等雑収入控除		2,528	0.1	1,188	0.0
当期製造費用		3,651,677	100.0	4,686,564	100.0
仕掛品期首棚卸高		25,999		22,766	
合計		3,677,676		4,709,330	
仕掛品期末棚卸高		22,766		28,636	
他勘定振替高		—		—	
当期製品製造原価		3,654,910		4,680,694	

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他 資本剰余金 自己株式 処分差益	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	658,240	211,245	3,140	214,385	553,069	553,069	△25,729	1,399,966	
当期変動額									
剰余金の配当					△25,840	△25,840		△25,840	
当期純損失(△)					△104,999	△104,999		△104,999	
自己株式の取得							△10,311	△10,311	
自己株式の処分							6,049	6,049	
自己株式処分差益			1,863	1,863				1,863	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	1,863	1,863	△130,840	△130,840	△4,262	△133,240	
当期末残高	658,240	211,245	5,003	216,248	422,229	422,229	△29,992	1,266,725	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	507,843	973,583	1,481,426	2,881,392
当期変動額				
剰余金の配当				△25,840
当期純損失(△)				△104,999
自己株式の取得				△10,311
自己株式の処分				6,049
自己株式処分差益				1,863
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△135,514	△12,607	△148,122	△148,122
当期変動額合計	△135,514	△12,607	△148,122	△281,362
当期末残高	372,328	960,976	1,333,304	2,600,030

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他 資本剰余金 自己株式 処分差益	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	658,240	211,245	5,003	216,248	422,229	422,229	△29,992	1,266,725	
当期変動額									
剰余金の配当					△25,790	△25,790		△25,790	
当期純損失(△)					△69,274	△69,274		△69,274	
自己株式の取得								—	
自己株式の処分							5,994	5,994	
自己株式処分差益			237	237				237	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	237	237	△95,064	△95,064	5,994	△88,833	
当期末残高	658,240	211,245	5,241	216,486	327,164	327,164	△23,998	1,177,892	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	372,328	960,976	1,333,304	2,600,030
当期変動額				
剰余金の配当				△25,790
当期純損失(△)				△69,274
自己株式の取得				—
自己株式の処分				5,994
自己株式処分差益				237
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	34,276	—	34,276	34,276
当期変動額合計	34,276	—	34,276	△54,556
当期末残高	406,605	960,976	1,367,581	2,545,473

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△104,177	△95,143
減価償却費	340,070	541,051
株式報酬費用	8,231	6,565
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,130	△2,800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,238	△3,343
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000	△10,000
受取利息及び受取配当金	△35,214	△42,570
支払利息	42,273	58,619
助成金収入	△1,441	△1,173
スクラップ売却損益(△は益)	△19,013	△16,266
投資有価証券売却損益(△は益)	-	4
受取保険金	△5,301	△1,279
有形固定資産除売却損益(△は益)	36,855	16,548
事業撤退損	757	-
売上債権の増減額(△は増加)	296,202	△64,517
棚卸資産の増減額(△は増加)	40,170	△53,783
仕入債務の増減額(△は減少)	△161,687	68,550
預り金の増減額(△は減少)	△103,603	△6,812
契約負債の増減額(△は減少)	-	278,795
長期契約負債の増減額(△は減少)	-	209,978
未収消費税等の増減額(△は増加)	△4,928	△57,485
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,743	-
その他	△51,607	△34,067
小計	246,474	790,871
利息及び配当金の受取額	35,131	42,464
利息の支払額	△44,371	△57,417
助成金の受取額	1,441	1,173
スクラップ売却による収入	19,013	16,266
保険金の受取額	5,301	1,279
法人税等の支払額	△1,058	△820
法人税等の還付額	11,413	5,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	273,345	799,703
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	-	50,000
投資有価証券の取得による支出	△7,766	△26,164
投資有価証券の売却による収入	-	23
有形固定資産の取得による支出	△602,785	△552,353
有形固定資産の売却による収入	339	6,025
無形固定資産の取得による支出	△2,700	-
資産除去債務の履行による支出	△23	-
貸付けによる支出	△5,200	△5,100
貸付金の回収による収入	5,324	7,431
保険積立金の積立による支出	△5,079	△5,079
差入保証金の差入による支出	△40	△563
差入保証金の回収による収入	10	508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△667,921	△535,271

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	200,000	△200,000
長期借入れによる収入	1,040,526	1,180,266
長期借入金の返済による支出	△931,171	△961,841
リース債務の返済による支出	△78,560	△119,896
自己株式の取得による支出	△10,311	-
配当金の支払額	△25,422	△25,551
財務活動によるキャッシュ・フロー	195,060	△127,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△199,515	137,408
現金及び現金同等物の期首残高	1,585,016	1,385,501
現金及び現金同等物の期末残高	1,385,501	1,522,909

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う製品による事業部門として、自動車用部品を受注している「自動車用部品」、自社ブランドを主とした駐輪製品を販売している「自社製品」と、収益に重要な影響を与える「賃貸不動産」を加えた3部門を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「自動車用部品」は主に、バンパー、スポイラー等の外装部品、ハンドブレーキレバーシステムの製造販売をしております。「自社製品」は、駐輪ラック等の駐輪製品の企画開発から設計、製造、販売・設置、保守メンテナンス及び駐輪場経営を行っております。「賃貸不動産」は、店舗等を賃貸しております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当事業年度より、電子機器事業について、従来「自社製品」に含めていましたが、事業撤退したため、「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前事業年度のセグメント情報は、当事業年度の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 4	合計	調整額	財務諸表 計上額
	自動車用 部品	自社製品	賃貸 不動産	計				
売上高								
一時点で移転される財	3,717,572	183,780	—	3,901,352	113,737	4,015,090	—	4,015,090
一定の期間にわたり移転される財	135,816	35,108	—	170,925	—	170,925	—	170,925
顧客との契約から生じる収益	3,853,389	218,888	—	4,072,278	113,737	4,186,015	—	4,186,015
外部顧客への売上高	3,853,389	218,888	—	4,072,278	113,737	4,186,015	—	4,186,015
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,853,389	218,888	—	4,072,278	113,737	4,186,015	—	4,186,015
セグメント利益又は損失(△)	△68,349	△5,552	27,829	△46,072	6,587	△39,484	—	△39,484
セグメント資産	5,378,867	129,660	473,559	5,982,087	106,145	6,088,232	1,794,675	7,882,908
その他の項目								
減価償却費	333,735	796	5,154	339,686	384	340,070	—	340,070
受取利息	620	18	—	639	10	649	—	649
支払利息	40,125	1,009	526	41,661	611	42,273	—	42,273
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	386,808	1,393	—	388,202	—	388,202	7,204	395,406

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計は、損益計算書の経常損失と一致しております。
2. セグメント利益又は損失(△)には、適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。
3. 「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
4. 調整額の内容は、各報告セグメントに属さない全社管理の資産であり、現金及び預金、建物の一部、投資有価証券等であります。
5. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子機器事業であります。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)4	合計	調整額	財務諸表 計上額
	自動車用 部品	自社製品	賃貸 不動産	計				
売上高								
一時点で移転される財	4,299,120	437,087	—	4,736,207	28,111	4,764,319	—	4,764,319
一定の期間にわたり移転される財	319,960	57,465	—	377,426	—	377,426	—	377,426
顧客との契約から生じる収益	4,619,081	494,553	—	5,113,634	28,111	5,141,745	—	5,141,745
外部顧客への売上高	4,619,081	494,553	—	5,113,634	28,111	5,141,745	—	5,141,745
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,619,081	494,553	—	5,113,634	28,111	5,141,745	—	5,141,745
セグメント利益又は損失(△)	△195,443	68,199	28,230	△99,013	19,144	△79,869	—	△79,869
セグメント資産	5,911,685	254,711	468,796	6,635,194	—	6,635,194	2,070,797	8,705,991
その他の項目								
減価償却費	535,281	650	5,084	541,016	35	541,051	—	541,051
受取利息	1,690	77	—	1,767	4	1,771	—	1,771
支払利息	55,959	2,251	266	58,476	142	58,619	—	58,619
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,028,692	—	496	1,029,189	—	1,029,189	2,226	1,031,415

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計は、損益計算書の経常損失と一致しております。  
2. セグメント利益又は損失(△)には、適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。  
3. 「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。  
4. 調整額の内容は、各報告セグメントに属さない全社管理の資産であり、現金及び預金、建物の一部、投資有価証券等であります。  
5. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子機器事業であります。

## 【関連情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SUBARU	2,308,593	自動車用部品
協和電機化学株式会社	456,402	自動車用部品

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SUBARU	3,249,847	自動車用部品

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	計			
減損損失	—	757	—	757	—	—	757

(注) 「自社製品」の金額は、電子機器部門の固定資産に係るものであります。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

## (持分法損益等)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,008円14銭	982円92銭
1株当たり当期純損失(△)	△40円53銭	△26円78銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純損失(△)(千円)	△104,999	△69,274
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△104,999	△69,274
普通株式の期中平均株式数(株)	2,590,415	2,586,313

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,600,030	2,545,473
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,600,030	2,545,473
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,579,041	2,589,716

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。